

校区が5年後・10年後こうなるといいなと思うものはどれですか?  
「質問項目2」から浮かび上がる校区の姿

### 上西校区：全体集計

#### ③ 現役世代の活躍：地域資源に根ざした産業の再起動による人口と交流の拡大

C001 農業等の一次産業と観光産業、商業を主軸に、産業支援・住宅支援をすることで定住人口と交流人口が増えている。

B004 農業等の一次産業と観光産業、商業を主軸に、産業支援をすることで定住人口と交流人口が増えている。

A005 農業等の一次産業と観光産業の発展を主軸に、企業の維持・拡大を支援することで、定住人口と交流人口が増えている。

004 農業等を核とした一次産業の発展により人口が増えている。  
007 既存企業への支援や企業誘致により働く場の確保ができる。  
010 観光客が増えるように観光地化し、交流人口が増える。

通底し  
A003 空き家も活用して移住者を受け入れて人口が増えている。

連動させ  
001 移住者を受け入れて人口が増えている。  
008 空き家が管理できる仕組みを構築し、人口が増える。

#### ② 次世代の継承：育成支援の充実

B003 結婚・子どもの増加・子育て・学校教育の支援が充実している。

002 単身者が結婚できるようサポートし、人口が増えている。  
その上で  
A001 子どもの増加・子育て・学校教育の支援が充実している。

003 小学校の留学生を増やし、複式学級がなくなる。

014 安心して子育てできるよう子育て支援が充実している。  
A002 校区内に高齢者の拠点施設や見守り・支援体制が整えられ、住みやすく生きがいのある日常生活がおくれる地域になっている。

015 健康寿命を伸ばし、自立した高齢者が増えている。  
006 校区内で高齢者施設や拠点施設をつくり、見守り体制の構築や生きがいづくりの場ができる。

012 ゴミ出しや草刈などの支援や見守り体制が整えられ、安否確認ができる支援が増え、高齢者が住みやすい地域になっている。

009 高齢者がいつでも移動できる交通機関の手段を確保し、行きたいところに移動できる。

#### ⑥ 地域の変わらない価値：自然と文化のなかの暮らし

立脚基盤

#### ■アンケート集計結果

ランク	得点幅	模様
A	121～150	■■■
B	91～120	■■■■
C	61～90	■■■■■
D	31～60	■■■■■■
E	1～30	■■■■■■■

(最高得点：147点)  
(回答者数：301人)

019 その他：

- (1) 2021年7月9日  
(2) 情報工房  
(3) 校区アンケート「質問2」の質問18項目  
(4) 山浦晴男
- 注1) 文頭の数字は、質問項目の番号を示す。  
注2) 文頭のアルファベットは、階層構造の段階を示す。  
注3) 左上の丸数字は、分析結果の解説のストーリーの流れを示す。

#### ① 防災対応：災害に強い地域づくり

011 災害時に避難できる頑丈な避難場所が確保され、災害に強い地域づくりができている。

# 上西校区「地域づくりアンケート」回答結果

(2022年アンケート)

### 【分析結果】

「質問2の項目」（5年後・10年後こうなるといいな）から浮かび上がった校区の姿は、次のようにある。5年後・10年後の願う校区の姿は、まず社会基盤となる「防災対応」で、「災害に強い地域づくり」にある。

災害時に避難できる丈夫な避難場所が確保され、災害に強い地域づくりができている。

これを基盤に、人生航路に沿って3つの要素の実現を思い描いている。

第1は「次世代の継承」で、「育成支援の充実」にある。結婚・子どもの増加・子育て・学校教育の支援が充実している。

第2はこの人生航路の先にある「現役世代の活躍」で、「地域資源に根ざし産業の再起動による人口と交流の拡大」にある。農業等の一次産業と観光産業、商業を軸に、産業支援・住宅支援をすることで定住人口と交流人口が増えている。

第3はこの人生航路の先にある「老後の生活」で、「生きがいのある日々」にある。高齢者が自立した活動ができる地域生活基盤と見守り・支援体制が整えられ、住みやすく生きがいのある日常生活がおくれる地域になっている。

そしてこの人生航路の先で、第1の「次世代の継承」へとバトンタッチする。

このようは人生航路を歩む立脚基盤をなすのは「地域共同体の保持」で、「負担軽減による自治活動」にある。校区と集落の自治活動の住民負担を軽減したうえで、伝統的な自治活動が維持できている。

このような姿の背景に潜在する「地域の変わらない価値」は、「自然と文化のなかの暮らし」にある。このまま穏やかな自然と文化のなかで暮らしていきたい、という思いである。

以上が、校区の5年・10年先の「将来像」である。